

防コミの歩き方



未来の防災リーダーを育てよう! (ジュニア防災学習)

●ジュニア防災学習とは?

神戸市消防局では地域と小学校が連携した防災教育を支援するために、平成19年度から教育委員会、NPO法人と合同で「防災教育支援プロジェクト」を立ち上げ、以後各消防署において、さまざまな形で防災教育支援を実施しているところです。

須磨区ではこれらに先立ち、子どもたちに震災の経験と教訓を継承し今後の災害に備えるため、地域と小学校と消防との協働活動の一環として「ジュニア防災学習」と銘打ち、平成16年多井畑小学校を皮切りにスタートして徐々に区内全域へと広げてきました。平成24年度には須磨区全20校区の小学校で「ジュニア防災学習」が実施され、以後毎年、全小学校で実施されています。



●防災学習の内容

防災学習は平日授業の一環としておこなわれています。対象者は全学年や5、6年生と一緒に等各小学校で違いますが、概ね6年生を中心に2時限を使って、負傷者搬送、応急手当、消火訓練、119番通報訓練、煙

や地震体験等さまざまな実践的訓練や津波に関する学習を地域・学校の実情や希望により実施しています。

訓練には消防署員をはじめ消防団員、地域の防災福祉コミュニティの皆さんも指導にあたります。防災学習修了後には、受講した児童に修了証として「セーフティキッズ」認定証が消防署長より手渡されます。

●取り組みの成果

防災学習は、単に子どもたちが防災知識と技能を習得するだけのものではなく、地域の大人とのふれあいの場でもあります。また地域と学校とが顔の見える交流を深める良い機会となっており、消防署は両者の橋渡し役としてサポートしております。

●今後の課題

小学校を卒業した後も地域の防災訓練や行事に継続的に参加する子どもたちを、地域に貢献できる未来の防災リーダー・後継者として育てていくことが必要です。

(須磨消防署 甲斐康之)

